

三月中旬から、オンライン授業が始まった。私はスカイプでイタリア語会話のサブリーナ先生と生徒たちと週四回、各二時間ほどした。オンライン授業が始まったのと同時に、イタリアの外出規制が厳しくなり、買い物をするためスーパーに行くためでしか、外に出ることが出来なかった。外出の際は、マスク、ある人はゴム手袋をつけ、外出書類、パスポートコピーを持ち歩いた。家の中では、オンライン授業の他に、イタリア語を勉強したり、ユーチューブやニュースを見たり、家族や友達とビデオ通話をした。正直、ずっと家の中にいるのは精神的にしんどく、つらいが、コロナウイルスが収まるためには仕方ないとポジティブに考え、時間を過ごした。

三月二十八日に私の地区を中心に午前中からい昼にかけて水が止まり、初めての経験でとても焦った。すぐ大家さんに連絡し、スーパーに水を買に行った。水がないと生きていけないと改めて実感した。

LOL上で、リスニング問題や長文や単語を発音する宿題があった。それらは、録音して提出する。

・生活編

私的に、四月はあっという間に過ぎた。ペルーじゃに来て早くも二ヶ月が経ち、コロナウイルス流行による自宅待機という状況、生活にも慣れ、オンライン授業も始まり、充実した生活を送ることが出来た。四月中旬から、本屋など、決められた店が少しずつ開き、外に出ても以前より確実にすれ違う人が増えた。未だに、マスク着用はもちろん、入店する際は手袋をすることが義務付けられている。

私は、スーパーマーケットに行くぐらいしか外出をしない。スーパーマーケットや他の店も同様、人数制限があるため、入店するだけでも時間がかかる。家の中ではイタリア語を勉強をしたり、YouTubeを見たり、友達とビデオ通話などをした。外食はもちろん出来ないため、ほとんど毎日同じ料理だが自炊をしている。まだ日本食は恋しくない。笑

本格的にオンライン授業が始まったのは、四月二十二日からだ。しかし、四月の前半にも六回、各一時間のオンライン授業があった。私と同じイタリア語のレベルの人たちとするオンライン授業は非常に楽しい。コロナが治まり次第、彼らに実際に会って、話したり遊びたい。

五月四日からイタリアのロックダウンが解除され、少しずつ日常の生活が戻りつつある。私はそんな生活が待ち遠しい。

．生活編

イタリアは5月4日から緊急事態宣言が解除され、17日からは少しずつ店が開きだし、25日、6月3日からはほとんどの店が通常営業時間で開いた。そのため、マスクをしつつ、外にはたくさんの方が賑わっている。3月、4月の時とは比べものにならない。また、イタリアは夏に近づいており、日中は30 近くまで気温が上昇するが、朝夜は10 近くまで下がり、気温差がある。ペルージャの中心街にはたくさんの机椅子が出されており、屋外でも飲食を楽しむことが出来る。最近までは、店内で食事することが出来なかったため、テイクアウト、またはデリバリーだった。しかし、6月からは店内でも食事することが出来るようになった店もある。しかし、スーパーマーケットと同様、人数制限があり、店に入る際は手をアルコール除菌しなければならない。私は、5月4日はほとんど毎日外に出て健康のためにウォーキングをしたり、友達とショッピングをしたり、一緒に勉強したりしている。また私は、様々なジェラート屋さんのピスタチオアイスクリームの食べ比べにはまっている。今までは、必要最低限以外、外に出ることが出来なかったが、今はまだ制限はあるが、外に出てイタリアでしか味わうことのない経験をすることが出来てとてもうれしい。これから、オンライン授業のクラスの子たちにも実際にあって話したいと思う。

例、ragazzo 【ts】、azzurro 【dz】

私もたまにどのように発音するか迷うことがあるが、私のクラスは韓国人が多いため、韓国人は特にこれらを発音するのが難しいようだ。

人が発音しているのを聞くことは、違いに気づき、新たに発見することが出来る。

．生活編

早くも、私はイタリアに来て、4ヶ月経った。時が過ぎるのは早いなと実感する。6月は、イタリアでは夏に入る月であり、日本のように快晴の日もあるが、梅雨で雨が降っている日が続いた。しかし、6月の最終週から今に至るところでは、ずっと快晴で、日中は30 以上、朝夜も結構暖かくなり、寒暖差が先月よりかなり少なくなった。そのため、ペルージャの町中にはたくさんの机、椅子が出ており、たくさんの人が食事をしている。また、店内でも飲食が可能になった。私は、最近、久々にピザを友人たちと食べた。とてもおいしかった。今までは、コロナウイルス流行で、オンライン授業の生徒たちと実際に会うことは出来なかったが、昨日ペルージャにいる生徒、先生と初めて会い、たくさんお話しした。とても不思議な気持ちになった。笑 これからは、お互い都合が合い次第、会い、食事をしたい。彼らとはもちろんイタリア語で会話するため、自分自身、語学の勉強になる。さらに、日本人の友達とバスとミニメトロを使い、クワサルという小さいショッピングモールに行き、夏服や靴を買い、ハンバーガーを食べ、今月の出来事は私の良い思い出になった。

あっという間に夏が終わり、秋が来ると思う。そのため、1日1日を充実した生活にしたいと思う。

今回は、発音もたくさん習ったが、特にレベルが上がると、アルファベットが長く連なった単語が増えたため、アクセントを重点的に習った。

先生が始めにそれらを発音し、自分らでどこにアクセントがあるのかを理解し、一人ずつ発音させる。私はやはり、r, l, gliの発音が難しい。

宿題では録音したものを先生に提出し、先生が確認し、ここが合っていないなどのコメントをくれる。

・生活編

私がイタリアに来て、すでに5ヶ月が経った。イタリアでは、今月は夏といった暑さで、夜の8、9時でも暑い。しかし、日本と違い湿気がなくカラカラしているため耐えることができるが、日差しが強く、私はすでに黒く肌が焼けてしまった。だが、イタリア人だけではなく、アジア人以外、夏には肌を黒く焼く習慣があるため、私も彼らみたいに今年はきれいに肌を焼きたい。笑

私は、今月も様々な店で、たくさんのピザとジェラートを食べた。イタリアでは、1人がピザ1枚を食べる。日本では考えられない。なぜなら、とても贅沢だからだ。しかし、価格もお手頃、味も最高なため、カロリーはとても高いが、おいしいため0カロリーだ。また、私はコーヒーが苦手で、今まで挑戦してみなかったが、最近友達とBarに行った際、初めてCappuccinoを飲んでみた。砂糖を入れたら、そこまで苦くなく、非常においしかった。イタリアにいるこの機会に、様々なCaffelに挑戦したい。ペルージャにもたくさんの観光客が訪れるようになった。真夏であるため、外ではマスクは厳しいは、店内では未だに全員がマスクを着用し、入店時にはアルコール消毒をする。

あっという間に夏が終わり、秋が来、冬が来る。一日一日を大事に過ごしたいと思う。

月間報告書 8月分

学籍番号： 留学先 : イタリア ペルージャ外国人大学
 氏名 : 留学期間 : 2020年04月01日 ~ 2021年03月31日
 年次 : 3年次 留学区分 : 派遣留学
 クラス : L01

. 受講時間数

No.	履修科目 (原語名)	履修科目 (日本語名)	受講時間数 (分)	授業形態
1	Esercitazioni	イタリア語会話演習	960	授業
2	Competenze di base	イタリア語文法	1080	授業
3	Pronuncia e grafia	イタリア語発音とスペル	240	授業

. 授業内容

No.1

今月は、8月21日にB1の2からB1の3に繰り上がる会話テストをした。テスト内容は、写真を見て、初めにその写真から、彼らは誰か、何が見えるか、何をしているかを答え、また、あなたにとってなぜ彼らはそれらをしているかを未来形、条件法を使って答える。そして、命令法を使って、彼らにアドバイスを言う。1人15分設けられ、先生2人に対し生徒1人体制だった。私は無事合格し、8月26日から新たなコースを受講している。

今までの先生はCristina Montilliで、参加人数は先生含め15名だったが、9月のコースからは新しい先生、生徒になった。新たな先生は、Maria Chiara Lisi、参加人数は先生含め7名。一コマ120分の授業を8回、すべてのオンライン授業はTeamsで受けた。教科書は、前回と同様、LA MIA CLASSEを使った。

授業内容は、文法の授業で習ったことを生かし、少人数グループに分かれ、題に合わせ会話、対論した。

No.2

授業内容1と同様、会話テストを受け、新たなコースB1の3を受講している。一コマ120分の授業を7回、一コマ60分の授業を4回、計18回、すべてのオンライン授業はTeamsで受けた。先生はCristina Montilli、教科書は前回と同様、LA MIA CLASSEを使った。授業内容は、主に未来形、条件法である。頻繁に未来形の時に使うForse, Magari, Probabilmenteなどの単語を学び、同時に近過去や条件法の場合はどのように変化するかを勉強した。様々な動詞の活用がゴチャゴチャになっているため、この活用はこれとすぐ言うことが出来るように暗記したいと思う。

また、3人グループになり、会話テスト同様なことをする宿題が週1回あり、それらを録画し、先生に送り、間違っている文法や発音をwordにまとめてくれた。

No.3

授業内容1、2と同様、新たなB1の3を受講している。一コマ60分の授業を4回、すべてのオンライン授業はTeamsで受けた。先生はCristina Montilli、教科書はLA MIA CLASSEを使った。

今月の授業内容は、一人一人、自由テーマのパワーポイントを作り、授業中に発表した。1人15~30分設けられ、他聞いている人は、その人が何について話しているか、気になった単語や物、場所をノートに書き留め、質問する。リスニングや発音の勉強に非常に役に立つ。私は、イタリアンが大好きなため、イタリアの食文化について話した。ネットの情報はもちろん使用したが、その情報が正しいのかを先生に聞き、先生からまた新たな情報を聞き出した。私は非常に緊張したが、終わった後は達成感で満ちあふ

れた。

・生活編

8月に入り、イタリアでは最高気温が38℃になる日が増え、直接日差しが肌に当たり、ジリジリして痛いほどだ。バカンスの月ということで、ペルージャにはヨーロッパ各地からたくさんの観光客が訪れ、賑わっている。しかし、また、イタリアでは徐々にコロナウイルスの感染者が増えている。そのため、先週から18時～6時は外でもマスクをしなければならなくなった。私はイタリアにコロナウイルスの第二波は絶対に来てほしくないと切実に思っている。

私は、今月は初めて友達と電車を使い、ローマ、フィレンツェ、ポーローニャ、ヴェネツィアに行った。今までは、ロックダウンがあり、全然旅行できる状況ではなかった。そのため、もちろんマスクをつけ、たくさんの場所に旅行し、本場で有名な食べ物をたくさん食べ、写真を撮り、おなかも心も満足した、そんな良い旅となった。それぞれの地で、気温から、外観、匂いまで違った。その発見は、自分自身にとって非常に良い経験になった。

現状、ペルージャ外国人大学は10月から対面授業が始まるとされている。私は、どのようにコロナ対策をしながら授業をするのか全くわかっていないが、対面授業を受けることが非常に楽しみだ。

あっという間に9月に入り、朝と夜は少し肌寒くなった。寒暖差が大きいので、体調に気をつけ、毎日を大切に過ごしたい。

月間報告書 9月分

学籍番号： 留学先：イタリア ペルージャ外国人大学
 氏名： 留学期間：2020年04月01日 ~ 2021年03月31日
 年次：3年次 留学区分：派遣留学
 クラス：L01

. 受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	Esercitazioni	イタリア語会話演習	840	授業
2	Competenze di base	イタリア語文法	1020	授業
3	Pronuncia e grafia	イタリア語発音とスペル	180	授業

. 授業内容

No.1

9月25日に、私が受けているコースB1の3、つまりB1を終了するテストをした。テスト内容は、前回と同様、一つの写真を見て、その写真から何が見えるか、どのように感じたかを説明し、後に一つの作り話をする。それは、今までB1で習った文法の活用を使わなければならない。

授業最終日に模擬会話テストをしたため、私は緊張せず受けることが出来た。私は無事合格し、10月2日から、また新たにB1の対面授業を受けている。

9月は生徒数が6名、先生はMaria Chiara Lisi、教科書は前回と同様、LA MIA CLASSEを使った。すべてのオンライン授業はTeamsで受けた。

授業内容は、生徒数が少ないため、私はたくさん発言することが出来た。実際の会話でどのように今まで習った活用を使うのかを、先生や生徒たちと会話をした。

例えば、彼らに命令法や条件法を使い、助言し合った。

また、今回の会話テストのように、写真を見て、説明することをたくさん行った。

No.2

授業内容1と同様、B1終了のテストを受け、無事合格したが、10月から対面授業が開始され、新たにB1の授業を受けている。

授業内容は、主に近過去、半過去、大過去など時制の使い方を復習した。やはり、使い方やこのときにはこの時制を使うといった区別が難しいため、先生はたくさんの例文や練習問題を用意していただいた。

また、三人一組に別れ、実際に会話したりした。

例、自分の幼少期や先週何したのかなど。

No.3

授業内容1、2と同様、9月はオンライン授業最終月で、B1の3の会話会話テストを受け、無事合格した。10月から対面授業を受けている。

今月は、各自が苦手な発音やアクセントを先生に直接伝え、それらを繰り返し発音した。クラスメイトで苦手な発音をシェアすることで、やはり私のような外国人にとって同じく発音することが難しいと同時に、今まで自分だけじゃ気づくことが出来ないことに巡り会い、発見することが出来るため、非常に有意義な授業だった。

．生活編

9月の中旬から、最低気温が一桁になるほど肌寒くなった。それと同時に、観光客は夏の時と比べ少なくなった。10月2日から対面授業が開始されたため、9月は最後のオンライン授業の月だった。私は、4月から6ヶ月オンライン授業を受けてきて、対面授業が待ち遠しかった。10月2日、授業初日、久々に学校に行き、授業を受けた。非常に新鮮で、直接人に会い授業を受けることはこんなに楽しいのかと思った。私は来年の1月までしか授業を受けられないため、一回一回を大切に受けたい。

私は、毎月一回は旅行するようにしている。今までコロナウイルス流行で旅行することが出来なかった、そして今私がイタリアにいるうちにいろいろな場所に行きたいためだ。

今月は、友達とナポリ、カプリ島、アマルフィに行った。旅行前半は、残念ながら大雨が降った。そして、カプリ島の日も天気予報では一日中降水量100%だったが、私たちがカプリ島に着いたら奇跡的に晴れていた。後に雨は降ったが、晴れたおかげで非常にきれいな青い海を見ることが出来た。

また、たくさんのおいしいものを食べた。ナポリと言えば、マルゲリータや海鮮。心もお腹も満足した旅となった。

季節の変わり目ということもあり、気温差が大幅に違うため、風邪を引かないように体調管理をしっかりしたいと思う。

一人で話し、残り一時間は教科書のリスニング問題を解いた。発音の授業にもかかわらず、私たちが実際リスニング問題でやったところを発音することはなかった。また、先生はあらかじめこの問題をやるのかを決めてなく、その場でそれらを決めるため、音声をセットなどもしたりする時間が、私たちにとってものすごいロスタイムだった。私たち生徒だけで話し合い、直接先生に、もっと発音を学び、それらが発音する授業に改善してほしいと言った。少しは改善されたが、私たちは正直、納得いく授業を受けることは出来なかった。

・生活編

今月から対面授業が始まり、私は新しいたくさんの方の人に出会い、彼らと友達になり、日々充実した生活を送ったため、あっという間に10月が終わった。

私は9月までオンライン授業を受けていたため、実際ペルージャ外国人大学で授業を受けいることが新鮮だった。オンライン授業は週10時間だが、対面授業は週に20時間で倍の時間受講することができ、私は非常に満足している。

しかし、残念なことにイタリア、ヨーロッパでコロナウイルスが再流行し、日に日に感染者数が増え、イタリアでは18時以降、飲食店やジム、美術館が閉まった。また、11/5に新たな政令が出た。イタリアの各州をコロナ感染がど度合いを、大きい順に赤、オレンジ、黄色に分け、各色で制限が違う。

私はウンブリア州のペルージャにいて、現在は一番制限が緩い黄色ゾーンだ。特にコロナウイルスの感染が多い、ロンバルディア州のミラノは、前回のロックダウンと同様に外出制限がかかり、一番制限が厳しい赤色ゾーンである。

一応、これらの政令は12/3までだが、長引くかもしれない。私は、イタリアで過ごすクリスマスが非常に楽しみであるため、長引いてほしくないと願うばかりだ。

そして、私は制限が厳しくなる前に、一人でチヴィタやオルビエートを観光し、アッシジには友達と行った。

．生活編

イタリア政府は、10月の終わり頃からコロナウイルス感染拡大を危惧し、ほとんどの州が移動制限の政令が強まった。私が住んでいるペルージャ、ウンブリア州はイエローゾーン（州、市移動はしないことを推薦する（してもよい）、レストランやバーは18時まで営業可能（イートインも可能）、22時まで外出可能など）だったが、一段階上のオレンジゾーン（州、市移動は特別な理由がある限り可能（旅行などの理由は対象外）、レストランやバーは18時まで営業可能（イートインは不可能、テイクアウトのみ）、22時まで外出可能など）になった。それは12月3日まで続く。もう一つ上の段階はレッドゾーンで、3月と同様なロックダウンでスーパーマーケットや薬局以外の店はすべて閉まっている状態だ。

外食はテイクアウトしか出来ないため、休みの日はピクニックのようにテイクアウトした物を人の少ない場所を探し、そこで食べた。たりした。

12月3日にイタリア政府は新たな政令を出す。私はイタリアが少しでもコロナウイルス流行が収まり、またウンブリア州がイエローゾーンになり州移動などが可能になることで、様々な場所に友達と旅行したり、レストランでおいしいものを食べたりするなど、よいクリスマスを過ごしたいなと切実に思う。

今月11月は対面授業だったが、来月12月はオンライン授業になる。来年の1月はまた対面授業を再開するつもりらしいがまだわからない。私は、来年の1月がペルージャ外国人大学で授業を受ける最後の月であるため、最後は対面授業をしたい。

月間報告書 12月分

学籍番号 : 留学先 : イタリア ペルージャ外国人大学
 氏名 : 留学期間 : 2020年04月01日 ~ 2021年03月31日
 年次 : 3年次 留学区分 : 派遣留学
 クラス : L01

. 受講時間数

No.	履修科目 (原語名)	履修科目 (日本語名)	受講時間数 (分)	授業形態
1	Esercitazioni	イタリア語会話演習	720	授業
2	Competenze di base	イタリア語文法	900	授業
3	Pronuncia e grafia	イタリア語発音とスペル	180	授業
4	Conversazioni	イタリア語会話	720	授業

. 授業内容

No.1

このクラスはB1の3で、12月23日にB1終了、B2に繰り上がる会話テストをした。

参加人数は12人、先生はMaria Didonna、先生が準備した書類を使い、すべての授業はTEAMSを使ったオンライン授業だった。

このクラスは一応会話のクラスとなっているが、内容は文法の授業で、別の文法の授業でやったことをより深く学習するといった授業形式だった。空欄を埋める問題やこの文章を~形に直しなさいという問題をたくさん解いた。

テスト内容は、一人約20分、先生は二人いらっしゃり、一人は会話の問題を出し、もう一人は文法の問題を出す方式だった。会話は先生がその場で準備した一つの写真を描写し、何が見えるか、どう思うかなどを答える。また、先生がその写真に関する質問をし、それに答える。

文法は長文を発音し、きちんと読解が出来ているかとして問題に答え、その長文を過去形から未来形に直す。

No.2

授業内容1と同様、B1の3で、参加人数は12人。先生はFlavia Sorcetti、教科書はNUOVO CONTATTO B1、すべての授業はTEAMSを使ったオンライン授業だった。

教科書に沿って、教科書内の問題を解き、それらを先生が説明するといった授業内容だった。

主に、接続法、受動態をした。

今月もまた接続法をたくさん勉強したため、他の文法の活用とごちゃ混ぜになりつつある。そのため、1月はすべての文法を復習する。

No.3

授業内容1、2と同様、B1の3で、参加人数は12人。先生はGian Franco Pizziconi、先生があらかじめ用意した資料を使い、すべての授業はTEAMSを使ったオンライン授業だった。

週一回、一時間といった非常に少ない授業だった。ただでさえ、オンライン授業であるため、先生と生徒の連携がうまくいかなかったり、音声が流れないといった事があり、私個人の意見としては物足りない授業だった。

授業内容は、音声を聞き、一人一人、アクセントやイントネーションに気をつけながら発音したり、各問題に答えるといった形式だった。

No.4

この授業は今月から新たに開始された。授業内容1、2、3のよう必須のクラスではなく、やりたい人は参加するといった、自主性で別額のクラスである。

参加人数は8人、先生はAntonella Dominici、すべての授業はTEAMSを使ったオンライン授業だった。

特に教科書などは使わず、先生がお題を出し、それについて会話するといった授業形態だった。

例、あなた方の国のクリスマスはどのような感じですか。デコレーション、食べ物、生活様式など。

それについて答え、聞く側は必ず一つは質問しなければならない。

私はこの授業は非常に楽しかった。なぜならイタリア語をたくさん話すことができ、自分の言いたいことをどのように表現すればみんなに伝わるかを考えることができたから。

. 生活編

12月に入り、気温が一桁、さらに雨がたくさん降り、さらに寒くなった。ペルージャはイルミネーションが飾られ、チェントロには毎年恒例の大きなクリスマスツリーが置かれた。今年はクリスマスマーケットは、コロナウイルス流行のためなかった。

ウンブリア州は12月の21, 22, 23日はイエローゾーン、イタリア全土で12月24, 25, 26, 27, 31日、1月1, 2, 3, 5, 6日はレッドゾーン、12月28, 29, 30, 1月4日はオレンジゾーンといった、コンテ首相が新たな政令を出した。レッドゾーンでも必要不可欠なスーパーや薬局などは開いているが、飲食店などは閉めなければならない。

この政策のおかげで、イタリアのコロナウイルス感染者数は少しずつ減っている。

1月7日から、12月の前半と同様、ウンブリア州はイエローゾーンに戻るのか、もしくは制限が厳しくなるのだろうか。

今月は、ヴェネツィアに近いペルーノという北部の町に、父のイタリア人の友人の家族に会いに行った。彼らの家に3日滞在し、たくさんの場所に連れて行ってくれ、たくさんの伝統的な料理を食べた。

また、一人でウンブリア州のまだ行ったことのない町に旅行した。

あと、私の留学は約一ヶ月しかない。悔いのないように、一日一日を大切に、充実に過ごしたい。

1月に入りさらに寒くなった。最高気温は5度、最低気温は - 5度くらいまで下がった。日没も早いため、午後の5時半には外は真っ暗だ。

1月の7日から1月の中旬まではウンブリア州はイエローゾーンに戻った。しかし、州を超えての移動は出来ないため、ウンブリア州の、グッピオ、トーディという町に友人と旅行した。二つとも小さい町だったが、ペルージャとは違う建築様式だったため、非常に良い小旅行だった。また1月の中旬から1月末、2月中旬までオレンジゾーンになった。私は最後に、州を超えて旅行をしたり、レストランや、パルで友達と食事をしたかったが不可能だった。それが心残りだ。

今月は改めて対面授業が始まった。私がペルージャ外国人大学で授業を受ける最後の月だったため対面授業ができて非常にうれしかった。クラスメイトは変わらなかったため、仲良くなり、授業最後の日にはみんなから温かいコメントをもらった。たくさんの外国の友達ができ、私は幸せだ。

